

令和5年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	20,035,284,564	19,102,139,982	933,144,582
特別会計	8,289,231,263	7,909,639,778	379,591,485
国民健康保険	3,630,176,643	3,571,170,114	59,006,529
介護保険	4,170,502,141	3,877,336,085	293,166,056
後期高齢者医療	488,552,479	461,133,579	27,418,900
合計	28,324,515,827	27,011,779,760	1,312,736,067

令和5年度 地方公営企業会計決算の状況

〔水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	906,019,794	835,887,857
資本的収支	57,652,894	206,158,845

〔下水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	985,525,289	899,250,309
資本的収支	476,119,870	861,663,694

〔病院事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	965,971,840	949,681,864
資本的収支	1,243,490,000	1,480,515,337

決算

◎令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◎令和5年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について

◎令和5年度白石市病院事業会計決算の認定について

総括質疑

◎令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕一般会計の実質単年度収支額が6億3157万5千余円の赤字計上であるが、総括は。

〔答弁〕赤字計上の主な要因は、公立刈田総合病院の指定管理者制度導入に伴う退職手当組合負担金4億6358万2千円を支出したためであり、実質単年度収支の7割以上を占めた。この支出は令和5年度1回限りのもので、将来にツケを残さない市政運営という思いで公立刈田総合病院の公設民営化に

取り組んだ結果である。

また、財政調整基金、減債基金、都市整備基金の主要3基金は19億84万円減少したが、このうち8億7170万円は、組合解散時の清算金を活用し、令和3年度に旧組合が発行したコロナ債(新型コロナウイルス感染症に係る公営企業の特別減収対策企業債)を全額繰上償還したためで、一般会計からの繰出金で負担する病院事業債は、令和4年度末の7億4101万2千円から令和5年度末で5億1374万7千円にまで減少させる大きな要因となった。

〔質疑〕令和5年度は公立刈田総合病院が市立病院に生まれ変わり、小中一貫の学びの多様化学校「白石きぼう学園」が開校したが、市政運営の感想は。

〔答弁〕公立刈田総合病院が公設民営の市立病院として再スタートできたことは、本市にとって歴史的な出来事で、予想をはるかに上回るスピードで経営が改善され、提供される医療の質も向上している。

教育機会確保法施行後、全国初となる小中一貫の学びの多様化学校「白石きぼう学園」の開校も、それまで学校に通うことができなかった子どもたちが、笑顔で学校に通い、保護者からも感謝の言葉をいただいていることが最大の成果である。

また、本市の教育改革の取り組みは世界からも注目され、OECDが実施する教育プロジェクトに参画することになり、将来を担う子どもたちの個別最適な学びの質を向上させる素晴らしい機会になる。

それ以外にもスマートインターチェンジと周辺整備事業など、市長就任以来時してきた種が、ようやく芽を出した年になった。
市政改革の流れを止めることなく、持続可能な白石市を創るため、積極的に挑戦を続ける決意を新たにしている。

